

標高500メートルの山のてっぺん。
世羅高原の畑から、
農薬、化学肥料を使わずに育てた採れたての野菜をお届けします。

コオロギ？ ネキリムシ？

9月27日50個、28日には90個に、そして29日は130個に！
…と、毎日のように白菜の苗が切られています。

24日に定植した早生と中早生の白菜約350本は、ほぼ半減。
10月初めには、中早生と中晩生の白菜約670本を定植します。

そしてこの秋は、8月末に種まきをした人参の芽も、みごとになくなってしまいました。

どちらも犯人は、ピョンピョンと元気に跳びまわっているコオロギ？、それともネキリムシ？…。気温が低くなれば、いなくなると思うのですが、9月末は夏のような暑さの日々。この秋は、まだまだ虫たちが元気そうです。

ビールにおぼれているのは、大量のナメクジ！

ビール(正確には発泡酒)を入れた3つの容器を、ピーマンのうねに置いてみたら、翌日には数匹ずつのナメクジが入っていました。それが、翌々日には右下の写真のような状態に！

びっくりするほどたくさんのナメクジが、ピーマンのハウスの中で捕まりました。

冷蔵庫の中にあるビールを眺め、「ナメクジ用のビールはどれ？」と尋ねると、「ナメクジ用の一番安いのは、昨日、飲んじゃった」と、Tonchan。Tonchanのより高いビールにおぼれて、2回目も同じように大量のナメクジが捕まりました。ナメクジが減ったおかげでしょうか、きれいに大きくなっているピーマンが、やっと増えてきているようです。

〈10月の野菜〉

□露地の畑では、ナス、米ナス、緑ナス、オクラ、四角豆、ズイキ、冬瓜、人参、ニラなどが収穫中。
大根間引き菜、サトイモ、ネギ、などの収穫が始まる予定です。

□ハウスの中では、ミニトマト、スイートバジル、ししピー、ピーマン、カラーピーマンなどが収穫中です。

中旬には、ハウスの中に葉物野菜などの苗を定植します。

- 山本ファミリー農園の日々の様子は、フェイスブックで。
- 畑の野菜で作った“うちのごはん”の写真は、山本ファミリー農園のブログで。
http://blog.goo/ne.jp/tonchan_sy/



〈再び、ポロポロです…〉

8月の台風10号に続き、17号の風でサトイモの葉っぱが、さらにポロポロになってしまいました。

広島市では、23日午前2時過ぎに27.4mの最大瞬間風速を観測しました。



〈やられました…〉

この冬は、人参が貴重品になりそうです。工夫をして草は抑えられたのですが、人参の芽が出ていません。

発芽直後の野菜を好んで食べる、コオロギが犯人か???



〈きゃ〜、見てはいけない?!〉

ビールにおぼれたナメクジです。なぜか、コオロギとダンゴムシも一緒に入っていました。

ハウスの中のピーマンを食べているのは、君たちじゃろう???

姿が見えない敵

ピーマンを食べているのは？

今年のピーマンは、若い実が落ちていることが多く、病気が発生しているのかと疑っていましたが、落ちている実をよく見てみると小さな穴が開いていました。実の中には虫が入っていないので、だれの仕業かわかりませんでした。

ハウスの中でよく見かける虫は、コオロギ、バッタ、ダンゴムシ、そしてナメクジです。コオロギやバッタがピーマンの実にとまっているのを見たことはありませんが、ダンゴムシやナメクジは、どちらもピーマンの実やヘタの部分にいることが多いです。先日、穴があいているので出荷からはじかれたピーマンの中から、初めてナメクジがでてきました。どうやら、実を食い荒らしているのはナメクジのようです。

ナメクジって？

ナメクジは、陸に生息する巻貝(陸貝)のうち、殻が退化しているものの総称で、分類学上はカタツムリと同じ軟体動物門-腹足綱-有肺亜綱-柄眼目に属しています。しかし、和名で「ナメクジ」という名のナメクジ(学名は*Meghimatium bilineatum*)がいるため、文献などで単にナメクジと書かれていると、どちらを指しているのかわかりにくいです。日本には10種類以上のナメクジがいると言われています。

ナメクジは、カタツムリなどと同様、両方の生殖器を持つ雌雄同体ですが、自家生殖が可能なのは、はっきりしていません。

ナメクジには触角が2対あり、外側の長い方の先端に目がついています。計4つの触角には、鼻に該当する器官がそれぞれについています。触角の間あたりに口があり、ヤスリのように並んだ歯(歯舌 しぜつ)で作物を削り取るように食べます。アブラナ科、ナス科、シソ科、キク科の野菜や花卉類、柑橘類で食害被害が多いそうです。

ナメクジにも肺があり、体の右側前方にある呼吸孔で空気の入替えをしています。また脳も存在していて、学習も少しするそうです。

ナメクジの捕獲・駆除

ナメクジは、嗅覚で餌を探しているのです、好物のにおいで引き寄せることが出来ます。ビール酵母の香りを好んで集まってくるそうなので、プラスチック容器を加工して、右の写真のような罠を作りました。中にビールや発泡酒などビール系飲料をいれて、畑の中に下部を埋め込むように設置しました。その結果は、おもて面をご覧ください。

誘引・捕殺する以外に、銅(銅イオン)やコーヒー(カフェイン)のような忌避効果のあるもので、作物に近づけない方法もあります。

また、ナメクジは酸性土壌を好むので、石灰などで土壌Phを矯正したり、作物の周りを石灰で囲むなどしても効果があるそうです。



畑でよく見かけるナメクジ。しばらく丸まっていましたが、触覚が伸び、体が細長くなったかと思うと、予想以上の速さで動き始めました。チャコウラナメクジでしょうか。



ナメクジによる食害跡。大きな傷ではないけれど、このような傷のある実が沢山あります。食べかけたら他のものに手を出さず、最後まで食べてほしいものです。



ナメクジ捕獲用の自作わな。中にビール(発泡酒)など、麦芽の香りのするものを入れます。数日たつと、おもて面の写真のように、中はナメクジでいっぱい。